

本当のあいさつとは

村上市立荒川中学校 3年 三富 沙也加

「みなさん。こんにちは。」

私はどちらかというと、あいさつを自分から進んでする方だと思います。

登校する時も、下校の時も、すれ違う人や途中、草むしりをしている人や水をまいている人などに会うことがありますが、こちらから元気よくあいさつをしています。

けれども、私のまわりの人は、意外とあいさつをしません。

先日もこんなことがありました。

隣のクラスの子と、偶然一緒に帰ることになりました。

すると、私たちの前から年配の女性が歩いて来ました。

「こんにちは。」

と私があいさつをすると、その人はさわやかに、

「こんにちは。」

とあいさつを返してくれ、こちらを見てにこっとして、そのまま通り過ぎて行きました。

一緒に歩いていた友達は、すかさず、

「今の人、知り合い？」

と聞いてきました。私が、

「違うよ。」

と答えると、

「は？知らないのにあいさつすらん？」

と、とても驚いた顔をして言ったのです。

驚かれたことに、私は逆に驚きました。

今まで知らない人にもあいさつをするのが当たり前だと思っていたので、私からすれば、あいさつしない人が不思議に思えて仕方ありません。

私はその時、学校でのあいさつ運動があまり役に立っていないことに気付きました。

そこで私は、翌日、生徒玄関で友達が来るのを待ちながら、みんなのあいさつの様子を確かめてみました。生活委員や生徒会書記局の人が、毎日、あいさつ運動をしているのですが、改めてよく見てみると、あまり効果が期待できないような気がしました。例えるなら、傷に絆創膏を貼っただけの応急処置にか見えませんでした。

あいさつ運動をしている人からすれば、「小さな声でも返してくれる人がいるんだからいいじゃないか。」という考えでやっている人が多いと思います。

しかし、目も合わせず、もそもそと呟くのがあいさつなのでしょうか。それで本当にあいさつと呼べるのでしょうか。

私は、元気な笑顔で、目を見てはっきり言うのが本当のあいさつだと思います。

自分から元気にあいさつをして、それが相手から帰って来た時の嬉しさ、気持ちよさ。それを一度味わえば、その人は知らない人にも自然とあいさつするようになると思います。あいさつをすることで、気持ちよく一日を始めることができ、その気持ちよさが一日中続くのです。お金もかからず、お互いがとてもいい気持ちになれることを考えると、あいさつは魔法のようにも思えます。

国語の授業で、俵万智さんの短歌を習いました。

「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ
なにげない会話、「寒いね」という一言が交わされただけで心があたたかくなる。
あいさつはそういうものだと思います。

私は、自分のためにも、まわりの人のためにも、これからも元気に笑顔であいさつをしていこうと思います。

みなさんも、知っている人同士はもちろん、知らない人とも自然にあいさつが交わされる地域が、少しずつでも広がっていくといいと思いませんか？